

第13回 花巻市景況調査結果

(平成25年4月～6月期)

花巻市景況調査

花巻市内中小企業 100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は93%。

D I 値・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。D I 値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す

- 「業況判断D I 6.5ポイント改善」
- 「売上額D I 15.5ポイント増加」

業況判断DI

花巻市の業況判断D I は、全産業平均でマイナス幅が6.5ポイント縮小(▲25.3→▲18.8)した。製造業は3期連続で横ばい、卸売業で22.2ポイントマイナス幅が拡大(▲11.1→▲33.3)しているが、その他業種では好転に転じている。

特に、建設業はD I 値がプラス10と前期比35ポイント好転している。

来期予想では、すべての業種で悪化を見込んでおり、好転は一時的なものと予想されている。

全国調査では、全産業業況判断D I が、3期連続でマイナス幅が縮小(▲25.2→▲20.9→▲17.7)しており、「中小企業の業況は、引き続き持ち直しの動きがみられる」としている。

業況判断(前期比)	平成22年			平成23年				平成24年				平成25年		前期増減	来期予想	
	年	月期			1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3			4~6
製造業	▲44.4	▲11.0	▲33.3	▲55.6	▲11.1	▲33.3	▲27.8	▲16.7	▲22.2	▲27.8	▲16.7	▲16.7	▲16.7	→	0.0	▲22.2
建設業	▲52.9	▲35.0	▲30.0	▲40.0	▲40.0	▲20.0	0.0	▲5.0	▲10.0	▲20.0	▲15.0	▲25.0	10.0	↗	35.0	0.0
卸売業	▲37.5	▲44.0	▲55.6	▲51.4	▲37.1	▲37.1	▲11.1	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲22.2	▲11.1	▲33.3	↘	▲22.2	▲44.4
小売業	▲45.7	▲46.0	▲34.3	▲55.6	▲55.6	▲22.2	▲51.4	▲48.6	▲51.4	▲51.4	▲45.7	▲51.4	▲37.1	↗	14.3	▲42.9
サービス業	▲66.7	▲39.0	▲27.8	▲61.1	▲27.8	▲38.9	▲16.7	▲33.3	0.0	▲27.8	11.1	▲22.2	▲16.7	↗	5.6	▲27.8
全産業	▲49.4	▲35.0	▲36.2	▲52.7	▲34.3	▲30.3	▲21.4	▲27.4	▲23.4	▲36.5	▲17.7	▲25.3	▲18.8	↗	6.5	▲27.5

売上額DI

前期、建設業以外の全ての業種で悪化したが、今期は全業種平均で15.5ポイントマイナス幅が縮小(▲25.7→▲10.2)している。

特に、製造業では、前期▲33.3から今期プラス5.6と38.9ポイント増加している。建設業、小売業も大きく好転を示している。

建設業は、2期連続の増加となっており、平成23年7月～9月期以来のD I 値プラスに転じた。

来期予想では、建設業が横ばいを予想しているものの、その他業種ではいずれも10ポイント以上の悪化を予想している。

全国値では、全業種平均4.7ポイントマイナス幅が縮小(▲19.0→▲14.3)しており、産業別でも製造業(前期差7.0ポイント増(▲17.9→▲10.9))、非製造業(前期差4.4ポイント増(▲19.8→▲15.4))いずれもマイナス幅が縮小している。

売上額DI(前期比)	平成22年			平成23年				平成24年				平成25年		前期増減	来期予想	
	年	月期			1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3			4~6
製造業	▲67.0	▲11.0	▲33.3	▲50.0	▲5.6	▲44.4	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲27.8	5.6	▲33.3	5.6	↗	38.9	▲27.8
建設業	▲47.9	▲15.0	▲40.0	▲10.0	▲20.0	10.0	▲5.0	▲15.0	▲15.0	▲15.0	▲20.0	▲5.0	5.0	↗	10.0	5.0
卸売業	▲62.5	▲22.0	▲11.1	▲54.3	▲48.6	▲42.9	22.2	▲33.3	▲11.1	▲44.4	▲11.1	▲33.3	▲33.3	→	0.0	▲44.4
小売業	▲37.0	▲40.0	▲37.1	▲55.6	▲11.1	▲22.2	▲48.6	▲51.4	▲54.3	▲48.6	▲48.6	▲45.7	▲17.1	↗	28.6	▲37.1
サービス業	▲72.0	▲44.0	▲16.7	▲61.1	▲44.4	▲33.3	▲22.2	▲27.8	16.7	▲22.2	5.6	▲11.1	▲11.1	→	0.0	▲22.2
全産業	▲57.3	▲26.4	▲27.7	▲46.2	▲25.9	▲26.6	▲15.2	▲30.0	▲17.2	▲31.6	▲13.7	▲25.7	▲10.2	↗	15.5	▲25.3

経常利益DI

経常利益DIは、製造業で11.1ポイントマイナス幅が拡大（▲11.1→▲22.2）しているものの、全業種平均では3期連続でマイナス幅が縮小している。

建設業、卸売業、小売業は、前期差10ポイント以上マイナス幅が縮小している。

来期予想では、いずれの業種でも横ばいもしくは若干の好転を予想している。

全国値では、経常利益DI前期差7.1ポイント増（▲33.3→▲26.2）とマイナス幅が縮小している。

売上単価・客単価DIもマイナス幅が縮小している一方で、原材料・商品仕入単価DIも上昇を示しており、円安による原材料価格等を注視する必要がある。としている。

経常利益DI(前年同期比)

年	平成22年			平成23年				平成24年				平成25年		前期増減	来期予想	
	1~3	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			
製造業	▲44.4	▲28.0	▲16.7	▲38.9	▲55.6	▲50.0	▲33.3	▲11.1	▲38.9	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲22.2	↘	▲11.1	▲16.7
建設業	▲35.0	▲40.0	▲55.0	▲45.0	▲45.0	▲40.0	▲30.0	▲20.0	5.0	▲25.0	▲40.0	▲20.0	▲10.0	↗	10.0	▲5.0
卸売業	▲62.5	▲67.0	▲44.4	▲51.4	▲37.1	▲45.7	▲11.1	▲33.3	▲11.1	▲55.6	▲44.4	▲66.7	▲33.3	↗	33.3	▲33.3
小売業	▲60.0	▲60.0	▲54.3	▲55.6	▲55.6	▲44.4	▲60.0	▲54.3	▲48.6	▲57.1	▲60.0	▲60.0	▲45.7	↗	14.3	▲42.9
サービス業	▲55.6	▲56.0	▲44.4	▲27.8	▲50.0	▲50.0	▲22.2	▲38.9	▲11.1	▲38.9	▲11.1	▲27.8	▲27.8	→	0.0	▲22.2
全産業	▲51.5	▲50.2	▲43.0	▲43.7	▲48.7	▲46.0	▲31.3	▲31.5	▲20.9	▲42.0	▲37.8	▲37.1	▲27.8	↗	9.3	▲24.0

資金繰りDI

サービス業が横ばい、その他業種はマイナス幅が縮小しており、全業種平均で9.2ポイントマイナス幅が縮小している。

来期予想では、横ばいもしくは、わずかな悪化を予想している。

全国値では、全業種平均2.3ポイントマイナス幅が縮小（▲18.0→▲15.7）しており、産業別でも製造業（前期差2.0ポイント増）、非製造業（前期差2.6ポイント増）いずれもマイナス幅が縮小している。

資金繰りDI(前期比)

年	平成22年			平成23年				平成24年				平成25年		前期増減	来期予想	
	1~3	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			
製造業	▲50.0	▲22.0	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲27.8	▲22.2	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲5.6	▲22.2	▲11.1	↗	11.1	▲16.7
建設業	▲35.0	▲30.0	▲20.0	▲30.0	▲45.0	▲20.0	▲15.0	▲15.0	▲10.0	▲5.0	▲25.0	▲25.0	▲10.0	↗	15.0	▲15.0
卸売業	▲62.5	▲56.0	▲33.3	▲42.9	▲37.1	▲37.1	0.0	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲33.3	▲22.2	↗	11.1	▲22.2
小売業	▲42.9	▲54.0	▲34.3	▲55.6	▲44.4	▲22.2	▲42.9	▲51.4	▲42.9	▲45.7	▲48.6	▲42.9	▲34.3	↗	8.6	▲37.1
サービス業	▲33.3	▲39.0	▲11.1	▲33.3	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲27.8	0.0	▲16.7	5.6	▲22.2	▲22.2	→	0.0	▲22.2
全産業	▲44.7	▲40.2	▲24.2	▲39.0	▲35.3	▲25.9	▲19.3	▲30.0	▲19.5	▲26.8	▲23.6	▲29.1	▲20.0	↗	9.2	▲22.7

従業員DI

従業員数は、全業種平均で3.5ポイント増（▲3.5→0.0）とわずかに増加となっている。業種別にみると、卸売業、小売業で10ポイント以上の増加、建設業で5ポイント減少、その他は横ばいとなっている。

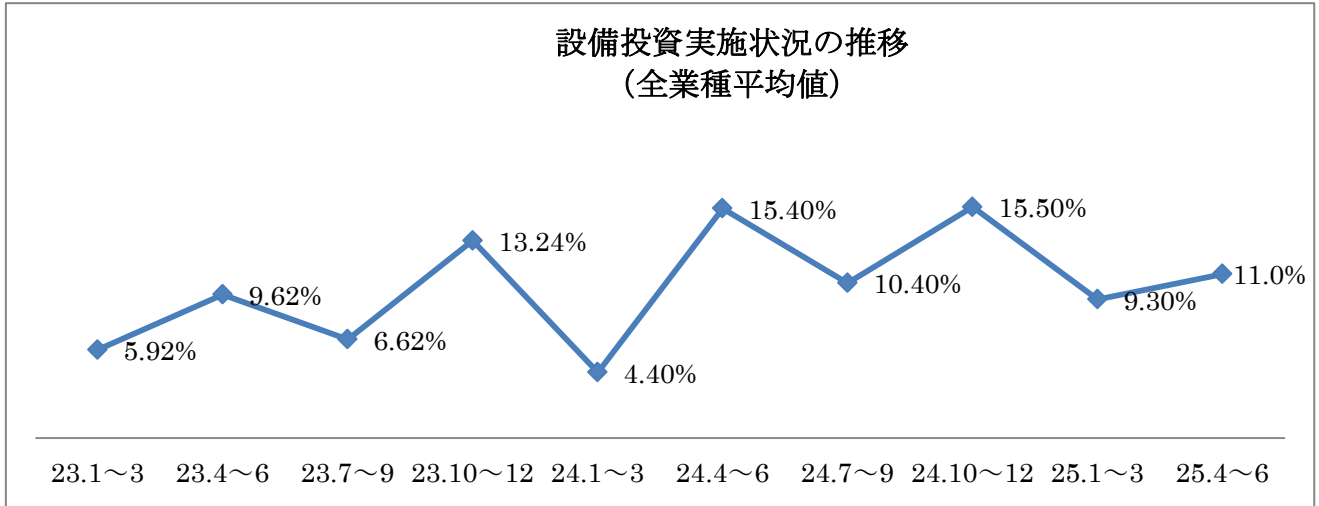
来期予想では、全業種平均で▲1.9とわずかな減少が予想されている。業種別では建設業が10ポイント増加、卸売業で11.1ポイント減少が予想されている。

従業員DI(前年同期比)

年	平成22年			平成23年				平成24年				平成25年		前期増減	来期予想	
	1~3	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			
製造業	0.0	▲11.0	▲22.2	▲5.6	▲55.6	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲11.1	▲22.2	0.0	▲5.6	▲5.6	→	0.0	▲5.6
建設業	▲20.0	▲25.0	▲15.0	▲10.0	▲45.0	▲5.0	0.0	0.0	10.0	▲5.0	▲10.0	5.0	0.0	↘	▲5.0	10.0
卸売業	▲12.5	▲11.0	11.1	▲5.7	▲37.1	0.0	0.0	11.1	11.1	▲11.1	▲22.2	▲11.1	0.0	↗	11.1	▲11.1
小売業	▲8.6	▲9.0	▲2.9	▲22.2	▲55.6	0.0	▲2.9	▲2.9	2.9	▲5.7	2.9	▲11.4	0.0	↗	11.4	▲2.9
サービス業	0.0	▲6.0	0.0	▲5.6	▲50.0	▲11.1	▲11.1	0.0	5.6	16.7	11.1	5.6	5.6	→	0.0	0.0
全産業	▲8.2	▲12.4	▲5.8	▲9.8	▲48.7	▲7.7	▲8.3	▲3.9	3.7	▲5.5	▲3.7	▲3.5	0.0	↗	3.5	▲1.9

■設備投資動向

- ・設備投資を実施した企業の割合は、11.0%（前期 9.30%）と 1.7 ポイント増加した。
- ・来期設備投資を計画している企業の割合は、6.8%と減少の見込みとなっている。
- ・全国の動向では、全産業で 15.6%（前期差 2.2 ポイント増）と増加している。



■直面している経営上の問題点

建設業	1位	材料価格上昇	20%	卸売業	1位	需要の停滞	23%
	2位	民間需要の停滞	15%		2位	仕入単価の上昇	18%
	3位	官公需要の停滞	15%		2位	販売単価の低下・上昇難	18%
製造業	1位	原材料価格の上昇	28%	サービス業	1位	需要の停滞	26%
	2位	需要の停滞	17%		2位	利用者ニーズの変化	21%
	2位	製品単価の低下・上昇難	17%		3位	利用料金の低下・上昇難 新規参入業者の増加	11%
小売業	1位	購買力の他地域流出	26%				
	2位	需要の停滞	13%				
	3位	消費者ニーズの変化	11%				